

読者の皆さんから届いたお便りなどを紹介します



煙の中で古代食作り

9月27日から3日間「古代吉備のロマン」をテーマとした総社観光大学を受講しました。岡山県立大学での、古代吉備や赤米などについての講義をはじめ、鬼ノ城見学、古代食作り、座禅体験、備中神楽鑑賞と、多彩で質の高い学びを経験することができました。

であったことを実感することができました。「ふるさと」という言葉が特別心に響いた今年、ふるさと総社の素晴らしさを再発見する良い機会となりました。

総社を愛する市民の皆さん、来年はぜひ、総社観光大学に参加してください。

(総社観光大学受講生 渡邊和子さん)

総社市栄養改善協議会

創立50年を記念する大会で、何か自分たちがオリジナルの楽しいことをやること、真っ先に思い立ったのが寸劇でした。

日頃の学習成果よろしく、手を挙げたメンバーでまずはシナリオ作り。自分たちの反省ばかりのようなエピソードは、繰り返しのダメ出しを経て、何とか仕上がりました。

あらすじは、ごくごく普通の家庭の日々の様子。極端なダイエットや、苦手な野菜を口にせず、いつも好物ばかりで済みます食事。ま



50周年記念大会で熱演

た、おなかいっぱい食べていても摂取に偏りがあることで、逆に低栄養な高齢者。演じていても「ここだ」というところでどつと来る笑い。思わず心の中でガッツポーズ。見ている人も、きつと心当たりが大ありだったのかも知れません。

栄養バランスを考えた食事でも、各自に合った運動や休養がとても大切だということ、我々も再認識させられました。

協議会には、さまざまな方面で活躍できる役者が揃っています。お引き合いあらば、いつでもどこにでも参上つかまつります。

(栄養委員 川上泉さん・井手)

そうじゃ特産商品シリーズが当たる

広報クイズ

今月の『広報そうじゃ』を読んで、次のクイズに答えてください。

Q ついに市内全17校の「小学校カレーシリーズ」が完成しました。ラストを飾ったのは、●●小学校版。

【応募方法】 はがきかメールに答えと住所、氏名、電話番号、市政や広報紙に対するご意見やご要望を明記のうえ、編集部へ。正解者のなかから2人に「そうじゃ消防署カレー」1個と「そうじゃ小学校ライスカレー」2個、「そうじゃ赤米がゆ」1個をセットで贈ります。いただいた意見などに対しては、担当課から連絡することがあります。

【応募期限】 11月30日(金) 【9月号の答え】 1000

【9月号の当選者】 大橋玉美さん(駅前二丁目)、長谷川守さん(富原)

[応募総数 15件]

【応募先】 〒719-1192 中央一丁目1番1号 総社市役所市政情報課 ☑ shisei@city.soja.okayama.jp



人口・世帯数 (平成30年10月1日現在)

人口 69,041人(前月比+72人)
(うち外国人登録1,396人 前月比+58人)
男 33,614人(前月比+46人)
女 35,427人(前月比+26人)
世帯数 27,609世帯(前月比+67世帯)

市民憲章

わたしたちは、美しい自然と豊かな吉備文化にはぐくまれている総社市民です。このことに誇りと責任をもち明るく豊かなまちをつくることにつとめます。

- 1 郷土を大切に
美しい環境をまもりましょう。
- 1 生涯学び
明るい家庭をきずきましょう。
- 1 たがいに助け合い
あたたかいまちをつくりましょう。

市の花・木・鳥

◎市の花/れんげ ◎市の木/もみじ ◎市の鳥/タンチョウ

総社観光大学

観光ナビゲーター数
205人



総社観光大学プロデューサー
神崎宣武さん

文化とは、その土地の集団社会が持つ癖のようなもの。観光ナビゲーターとして、文化を継承していくことが大事。何か一つでも、学んだことを外に向かって伝えられるようになってほしい。

問い合わせ 観光プロジェクト課 (☎08277)

総社の観光とその魅力を学ぶ総社観光大学が、9月27日から29日までの3日間、岡山県立大学ほか市内の観光地を会場に開催されました。県内外から26人が参加。修了生には、総社観光の伝道師としての活躍が期待される「総社観光ナビゲーター」の称号が与えられました。

講義は、「古代吉備のロマン学」をテーマに、民俗学者の神崎宣武さんがプロデュース。古代吉備の成立と繁栄や赤米についての講義をはじめ、古代食の調理、鬼ノ城・宝福寺の見学、備中神楽鑑賞、座禅体験など、食べて・見て・体験するプログラムを実施。受講生は、吉備の歴史や文化を体感しました。

総社観光大学は今年で8回目を迎え、輩出した観光ナビゲーターは延べ205人となりました。今後も、全国各地にいるナビゲーターの力を活用し、総社の魅力を発信し続けていきます。

